

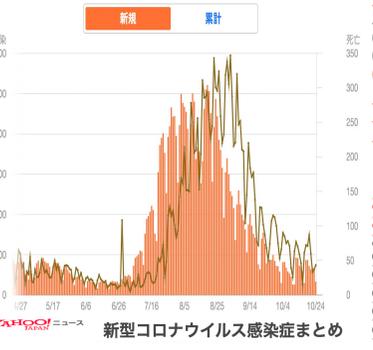
実効再生産数	
1/10	5.68
1/20	2.58
1/23	1.93
2/1	1.28
2/7	1.15
3/14	0.93
3/28	0.95
4/4	1.05
4/11	1.01
4/18	0.98
5/10	0.97
5/16	1.07
5/21	0.97
6/13	0.95
6/20	0.98
6/25	1.01
7/4	1.11
7/11	1.24
7/18	1.23
7/25	1.16
8/1	1.07
8/8	1.02
8/15	0.97
8/24	1.02
8/29	0.96
9/14	0.82
9/19	0.93
9/22	0.91
9/27	0.90
9/29	0.89
10/4	0.85
10/6	0.89
10/11	0.95
10/13	0.93
10/18	1.02
10/20	1.09
10/25	1.02

221026資料

全国

2022年10月24日 23時55分更新
データ提供：JX通信社/FASTALERT

国内の発生状況		
新規感染者数	累計感染者数	死亡者数
16,498 (前週同曜日比+1,599)	22,034,401	46,363 (前日比+43)



YAHOO!ニュース 新型コロナウイルス感染症まとめ

実効再生産数	
1/10	7.46
1/20	3.68
1/23	2.29
2/1	1.31
2/7	1.15
3/14	0.97
3/28	0.96
4/4	1.19
4/11	1.10
4/18	1.04
5/10	1.00
5/16	1.09
5/21	0.97
6/13	0.90
6/20	0.96
6/25	1.04
7/4	1.11
7/11	1.23
7/18	1.19
7/25	1.15
8/1	1.09
8/8	1.04
8/15	1.02
8/24	1.14
8/29	0.95
9/14	0.84
9/19	0.89
9/22	0.86
9/27	0.89
9/29	0.92
10/4	0.80
10/6	0.85
10/11	0.97
10/13	0.92
10/18	0.97
10/20	1.07
10/25	1.04

宮崎

2022年10月24日 23時55分更新
データ提供：JX通信社/FASTALERT

宮崎県の発生状況		
新規感染者数	累計感染者数	死亡者数
113 (前週同曜日比+29)	200,838	383



YAHOO!ニュース 新型コロナウイルス感染症まとめ

実効再生産数	
1/10	24.3
1/20	4.69
1/23	2.38
2/1	1.05
2/7	0.93
3/14	1.00
3/28	1.06
4/4	1.06
4/11	1.03
4/18	0.99
5/10	0.97
5/16	1.04
5/21	0.96
6/13	0.92
6/20	0.96
6/25	1.03
7/4	1.80
7/11	1.26
7/18	1.23
7/25	1.18
8/1	1.06
8/8	0.99
8/15	0.97
8/24	1.17
8/29	0.94
9/14	0.77
9/19	0.88
9/22	0.87
9/27	0.91
9/29	0.87
10/4	0.84
10/6	0.91
10/11	0.97
10/13	0.91
10/18	1.00
10/20	1.10
10/25	1.01

福岡

2022年10月24日 23時55分更新
データ提供：JX通信社/FASTALERT

福岡県の発生状況		
新規感染者数	累計感染者数	死亡者数
322 (前週同曜日比-55)	1,101,700	2,014



YAHOO!ニュース 新型コロナウイルス感染症まとめ

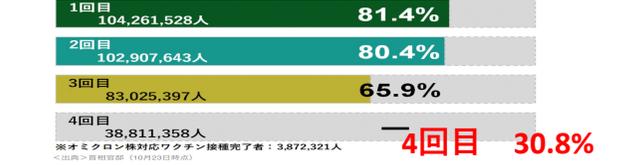
直近1週間の人口10万人あたりの感染者数



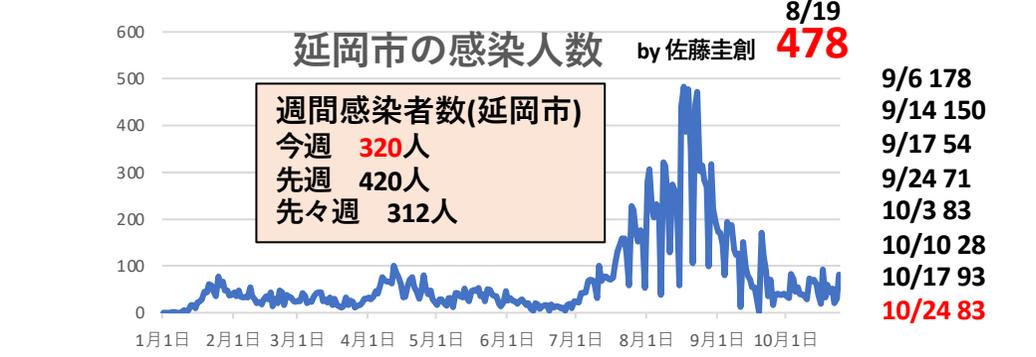
日本経済新聞 チャートで見る日本の感染状況 新型コロナウイルス 2020年4月10日公開 2022年07月28日更新

宮崎県DATA (10/25)
医療機関入院中41名(延9)
宿泊療養施設入所中19名(延11)
入院ベット専有率(宮崎県14.3%)
(延14.0% (実働19.6%))

県延 5/13, 医師会 3/13, 共立 0/16, 平田東2/2, 吉田0/2



9月初旬の学校再開、2度の連休で増加があるものの、9月後半には減少する、さらに10月上旬の連休で少し増加するもその後は減少傾向を迎える (BA. 5のみの感染拡大なら)。
 宮崎県は、5日から警戒レベルを「医療警戒」に引き下げ現在は制限されている高齢者施設での面会が、少人数であれば可能になる。また、県の認証を受けていない飲食店についても、「1テーブル4人以下、2時間以内」の制限がなくなる。
 現在、延岡市内の3つの高齢者施設でクラスター出ている。



- 9/6 178
- 9/14 150
- 9/17 54
- 9/24 71
- 10/3 83
- 10/10 28
- 10/17 93
- 10/24 83

延岡市の実効再生産数

8/19	1.71
7/19	1.71
7/26	1.72
8/2	1.17
8/7	1.25
8/9	1.09
8/15	1.11
8/24	1.57
8/29	0.96
9/6	0/73
9/15	0.82
9/20	0.65
9/26	1.09
10/3	0.93
10/10	0.90
10/17	1.25
10/24	0.86



実効再生産数1以上急増

最大数 デルタ27人、BA.1: 70人、BA.2: 99人、**BA.5: 478人**
 宮崎県：第1～5波感染者6142人、第6～7波感染者138938人

感染症は割合（％）ではなく、総数が問題

オミクロン株、特にBA.5の方が死亡者数多い
過去最高 9/2：347人

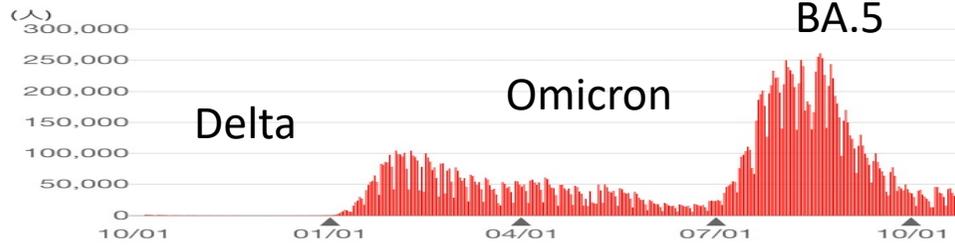
新規陽性者数の推移（日別）

情報更新日：2022年10月24日

新規陽性者数 **16,852** 人
前日比 **↓ 14,021** 人

1週間平均 **33,636** 人
前週平均 **31,556** 人

グラフ表示期間 1週間 1か月 3か月 **1年**



入院治療等を要する者等推移

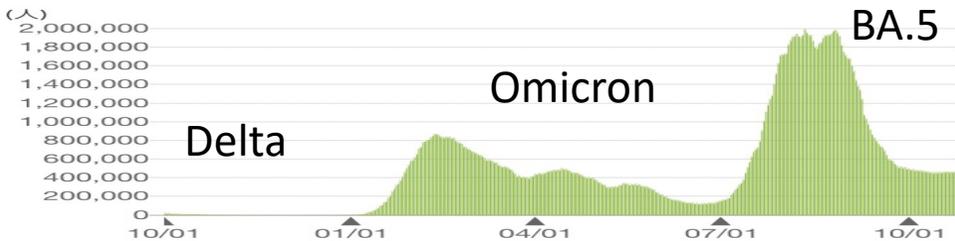
情報更新日：2022年10月24日

入院治療等を要する者 **462,863** 人 **↓** **603** 人

退院又は療養解除者数 **20,474,003** 人 **↑** **2,786** 人

確認中 **1,024,954** 人 **↑** **14,634** 人

グラフ表示期間 1週間 1か月 3か月 **1年**

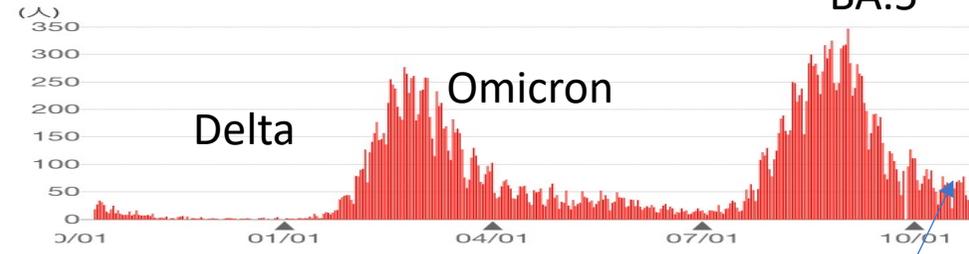


死亡者数の推移

情報更新日：2022年10月24日

死亡者数 **35** 人
前日比 **↓ 9** 人

グラフ表示期間 1週間 1か月 3か月 **1年**



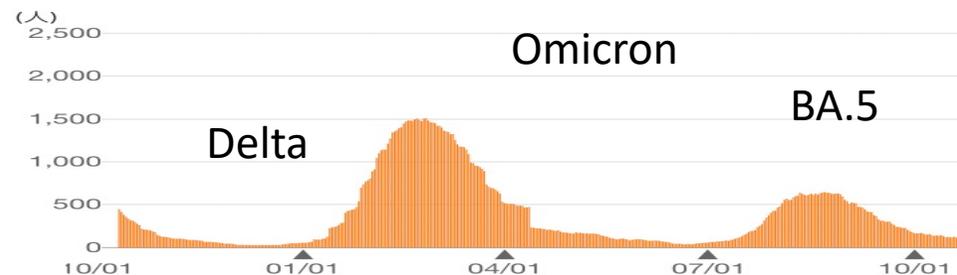
連休効果

重症者数の推移

情報更新日：2022年10月24日

重症者数 **115** 人
前日比 **0** 人

グラフ表示期間 1週間 1か月 3か月 **1年**



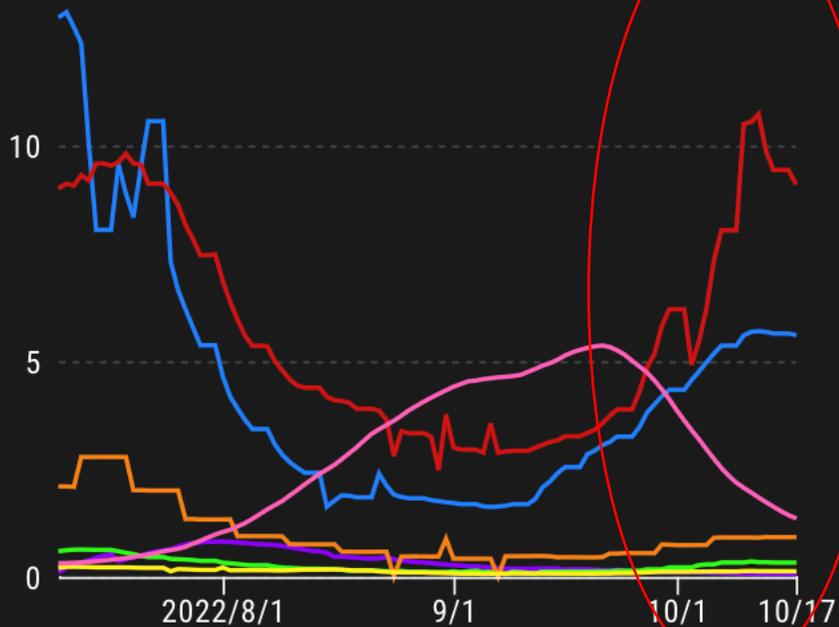
世界の流れ 221025

— 欧州で感染者数・死者数増加傾向 —

新規感染者数（欧州）

■ フランス ■ ルーマニア ■ オランダ ■ ドイツ ■ 英国
■ デンマーク ■ ロシア

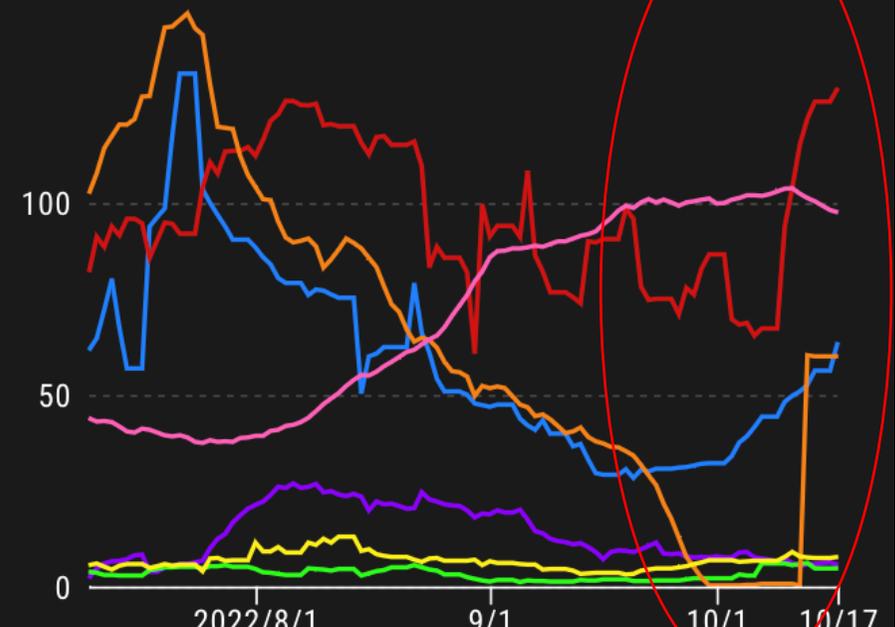
万人



新規死者数（欧州）

■ フランス ■ ルーマニア ■ オランダ ■ ドイツ ■ 英国
■ デンマーク ■ ロシア

人



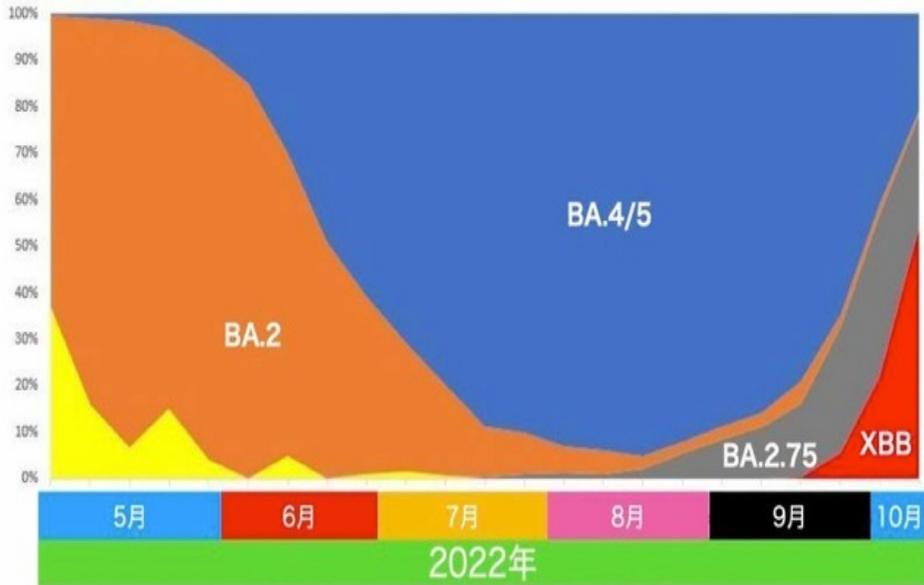
オミクロンの新規亜系統の世界的な発生状況

- 米国や欧州ではBA.5.3系統の亜系統であるBQ.1系統とBQ.1.1系統や、BA.2.3.20系統が増加
- アジアではBQ.1系統とBQ.1.1系統に加え、BJ.1系統(BA.2.10系統の亜系統)とBM.1.1.1系統(BA.2.75.3系統の亜系統)の組換え体であるXBB系統、BJ.1系統、BA.2.3.20系統が増加
- つまり、BA.5の亜系統とBA.2の亜系統の感染拡大が生じている
- 変異はR346、K444、V445、G446、N450、L452、N460、F486、F490、R493といった共通の部位に集中：ウイルスの収斂進化が生じている
- ワクチンや感染による中和抗体への逃避能：XBB系統 > BQ1.1系統 > BA.5系統

XBB

- XBBはBJ.1 (BA.2.10系統の亜系統)とBM.1.1.1 (BA.2.75.3系統の亜系統)の組換え体
- 2022年8月にインドで見つかった組換え体
- 現在シンガポール、インド、バングラデシュなどでこの組換え体の検出数が増加
- BA.2.75よりも広がる勢いが早い
- BA.5よりも20%以上広がるスピードが速い
- 過去にワクチン接種をし、さらにオミクロン株に感染した人でもXBBには感染するかもしれない
- 新たに感染した人の17%が過去に感染したことのある人の再感染の事例
- 日本でもすでに検疫でXBBによる感染例

XBBが増加しているシンガポールの状況



シンガポールにおけるそれぞれの変異株の割合の推移 (シンガポール保健省資料より)

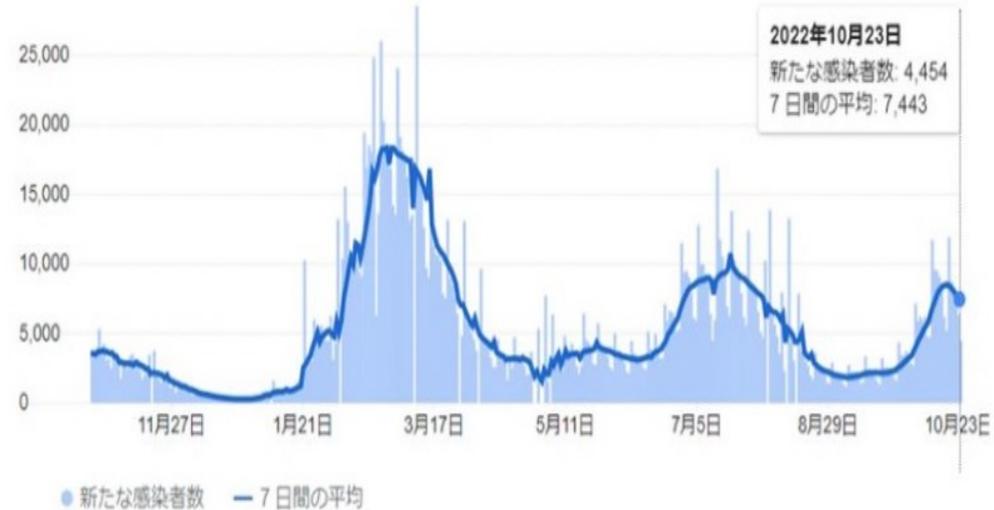


図1. シンガポールにおける新型コロナウイルス感染者数

JHU CSSE COVID-19 Dataより引用

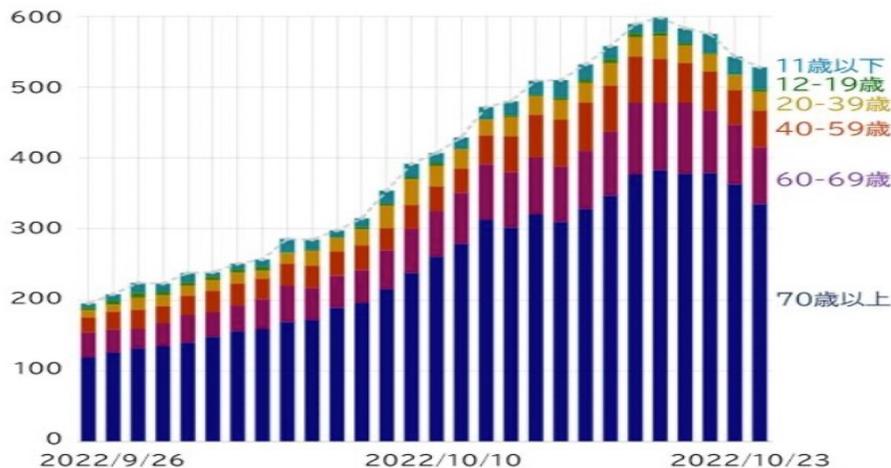


図2. シンガポールにおける新型コロナウイルス入院患者数(一般床)

シンガポール保健省HP(<https://www.moh.gov.sg/>)より引用、一部改変

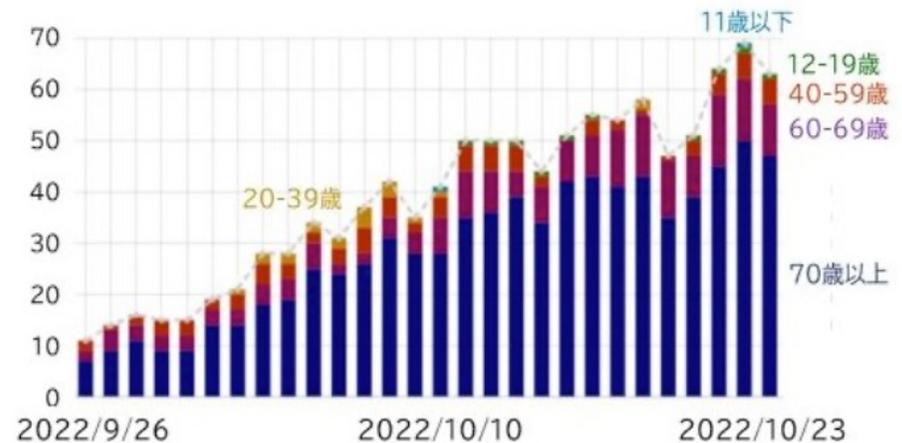
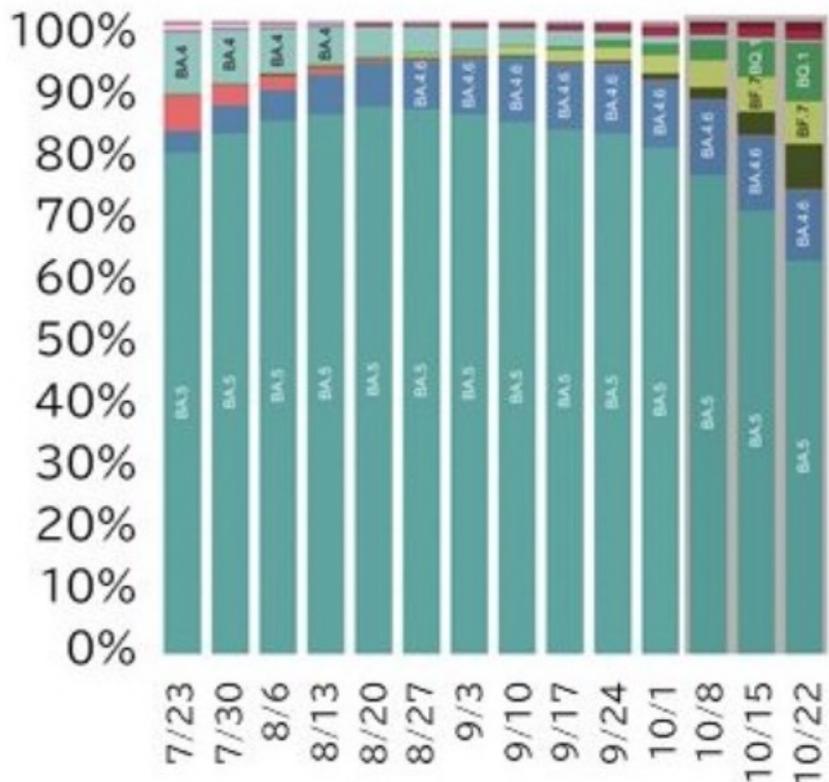


図3. シンガポールにおける新型コロナウイルス重症者数(酸素投与)

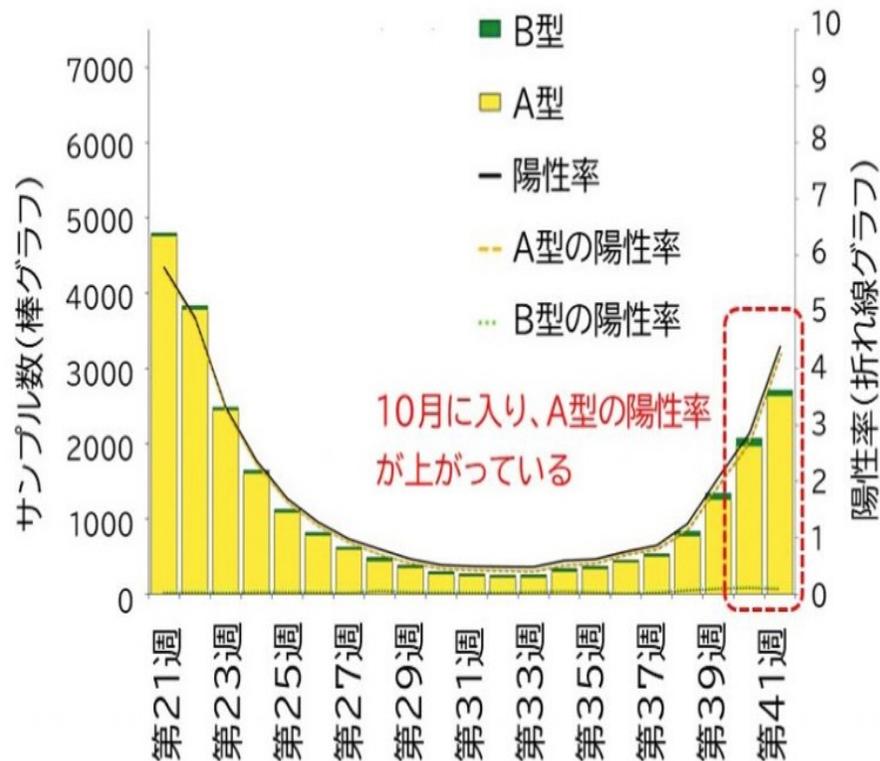
シンガポール保健省HP(<https://www.moh.gov.sg/>)より引用、一部改変



BQ.1
BF.1
BQ1.1 } BA.5に置き換わっている

アメリカにおけるコロナ株の検出割合の推移

<https://covid.cdc.gov/covid-data-tracker/#variant-proportions>より引用



米CDCへ報告されたインフルエンザ陽性件数

米国ではインフルエンザの流行も始まっている

インフルエンザの流行とコロナ

- 2年間流行がない→自然抗体が減少
- インフルエンザワクチン接種率低下（昨年）→誘導抗体減少
- マスク着用頻度低下→飛沫感染増加
- オーストラリア（南半球でインフルエンザ流行、タミフル耐性インフルH1N1も検出）
- アジアでは、H3N1(A香港型)が増加→流行の可能性高い、重症化しやすい、ワクチン効果やや効きにくい
- 本年の冬は、例年より寒い可能性あり
- 例年より早く流行が来るかもしれない
- 他国からの人流増加
- With coronaによる感染増加

集団免疫が低下



問題点

- インフルエンザか？コロナか判別困難？
- スーパーインフェクションによる重症化
- ダブル流行で、医療崩壊

インフルエンザ流行の可能性あり

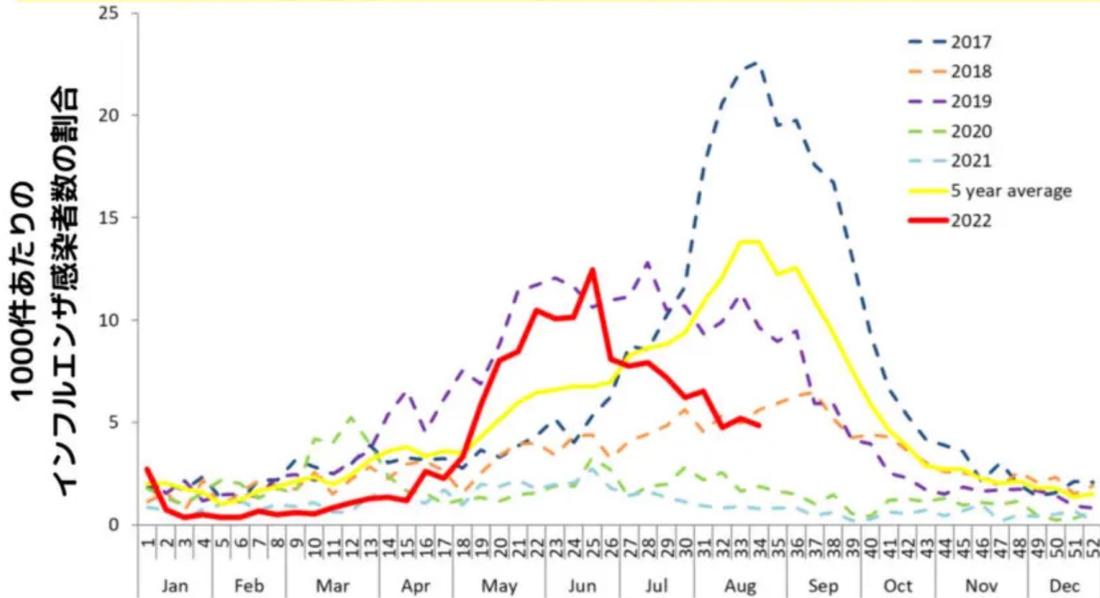
対策

新型コロナと同じ
三密避ける、マスク、手洗い、換気とワクチン

厚生労働省では今シーズンでのインフルエンザワクチンの供給量を過去最大の7042万人分供給する予定

インフルエンザワクチン接種を推奨

オーストラリアでのインフルエンザ感染者数の推移



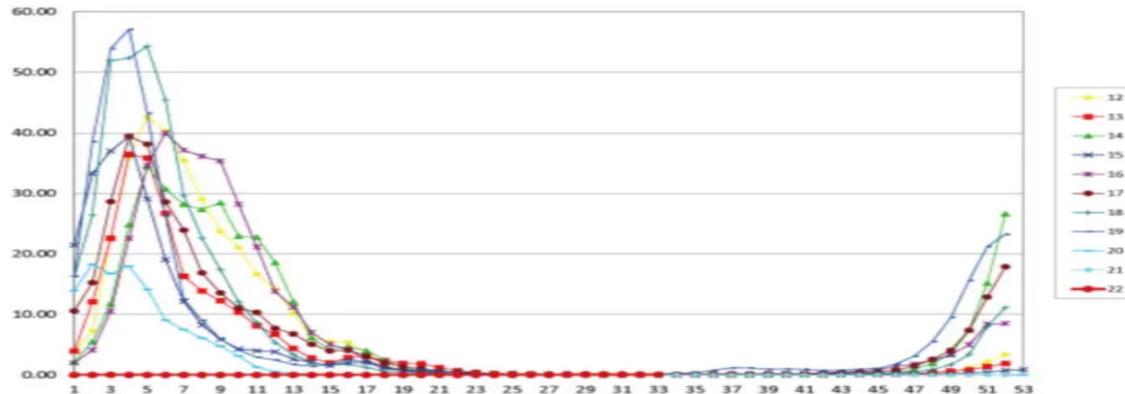
(オーストラリアでのインフルエンザ感染者数の推移：Figure 3. Unweighted rate of ILI reported from ASPREN sentinel GP surveillance systems, Australia, 01 January 2017 to 28 August 2022, by month and weeklyより日本語に変更)

オーストラリアでの新型コロナ感染者数の推移



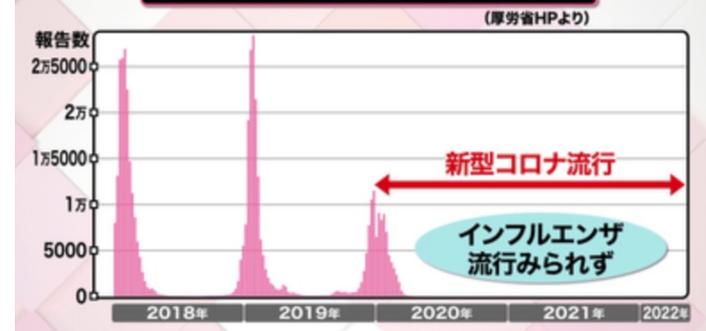
早期から感染拡大し遷延化する

日本での過去10年間のインフルエンザ感染者数の推移



(国立感染症研究所資料より転載)

国内のインフルエンザ患者報告数



全体的な流れは、ピークアウトして減少傾向

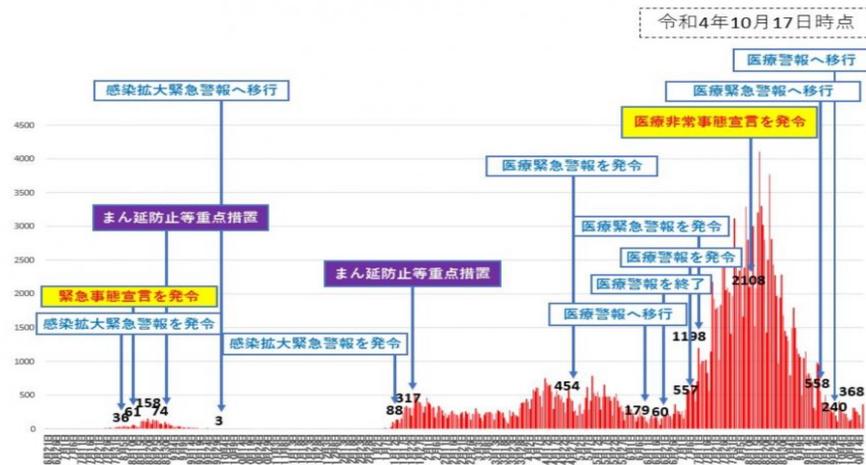
全国1位の感染者数（10万人当たり）

高齢者施設でのクラスターに注意

次の連休で多少の増加はあり

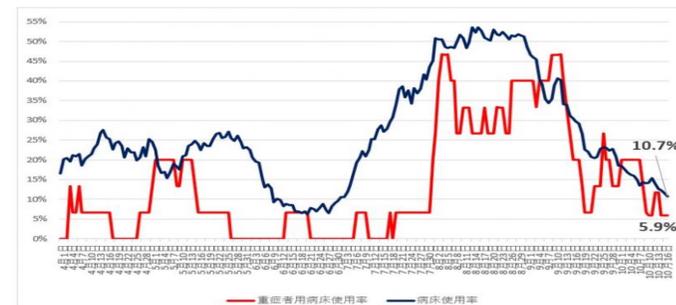
9月後半から英国、ドイツ、フランス、英国で感染者・死亡者が増加傾向

オミクロン亜系統（XBB, BQ.1, BQ.1.1など）の増加が懸念される



宮崎県の病床使用率

令和4年10月17日時点



10/8-10

連休効果3

感染者増加→重症者・死者増加
(医療逼迫)

8/24

2学期開始効果

9/5-9

8/10

台風効果

連休効果1

9/17-19

連休効果2

9/23-25

9/28

現在ここ

11月後半まで小康状態か？

これからの流行予測

インフルエンザが12月に流行
それにかぶさる形で新型コロナ流行

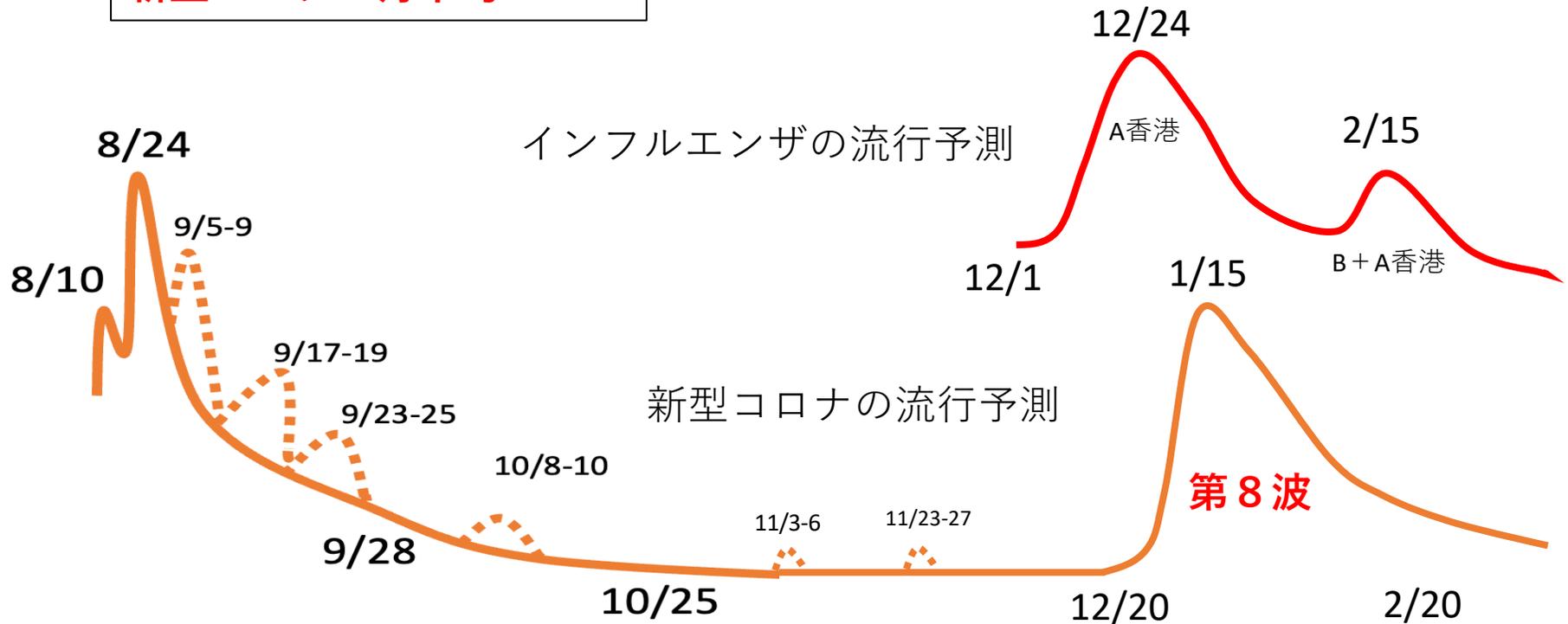
12～1月はツインでパンデミックの可能性（医療崩壊危機）

インフルワクチン効果、2W効果発現開始、1Mでピーク、3～5ヶ月で抗体減少

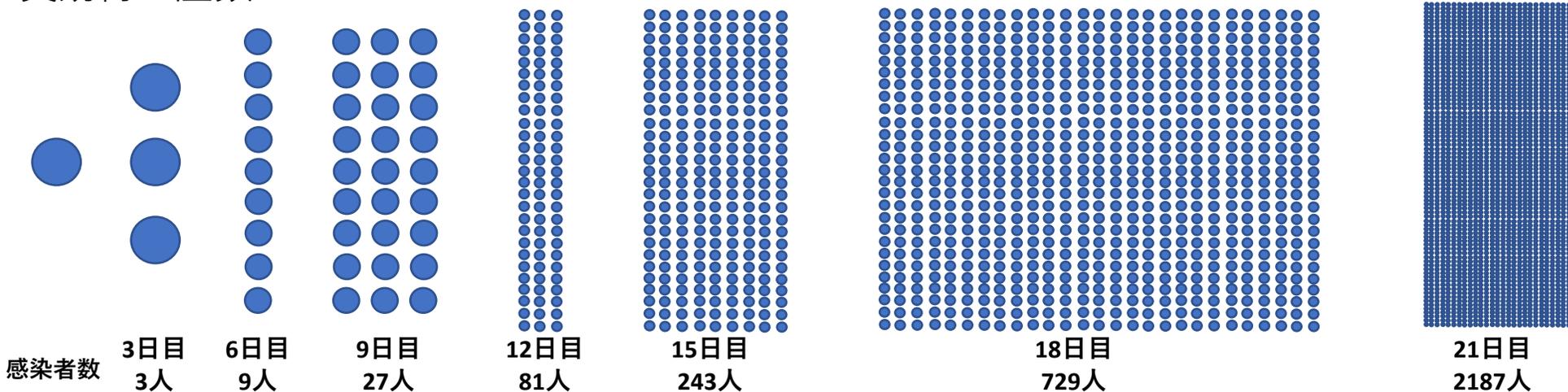
新型コロナワクチン効果、1W効果発現開始、1Mでピーク、3～4ヶ月で抗体減少

ワクチン接種の目安
インフルワクチン11月中旬
新型コロナ11月下旬

寒冷、乾燥、寒気低下、
人流、マスク外し、インバウンド



実効再生産数 3



実効再生産数が3であれば、感染者は3週間で2187人になる

見かけの
実効再生産数 1 以下



現在の状態

21日

21日目
1人以下



BA.5に感染→抗体値上昇し感染しない



ワクチン接種→抗体値上昇し感染しない



マスク、三密回避、換気徹底、手洗い励行で感染予防できてる人



宮崎県は、BA.5感染者約10万人 + 濃厚接触、無症候性感染者 = 30万人 (人口の約30%)



ワクチン接種3回以上者約70%

なぜ感染者が減少してきたか？

- 現在、全国的に感染者が減少している。
- その理由は（全ページ参照）、1）マスク・三密回避・換気徹底・手洗い励行、2）感染・濃厚接触・無症候感染（症状のない感染者で感染に気付いていない）に伴う抗体上昇、3）3回以上のワクチン接種者の増加による、**見かけの実効再生産数の減少**に起因する。
- 例えば、実効再生産数が3だとすると、感染者は、6日で9人、15日で243人、21日で2187人と3週間で急増する。
- 1）～3）の条件で、見かけの実効再生産数が1以下に低下すれば、3週間経過しても感染者は増えない。
- 今後、すでにBA.5に感染した人の抗体価が、3～4ヶ月で減少し、3回以上のワクチン接種者の抗体価が減少すると、**見かけの実効再生産数が増加に転じ**1を超えると、感染者が再度増加し始める。
- さらに、マスクの着用の緩和、人流増加、寒冷・湿度低下などの人的要因や環境要因が変化すれば、第8波が到来する。
- 10/18報告の県内の感染者は、368人、このうち延岡市は93人で、宮崎市の90人を超えて、延岡は県内1の感染者数となった。
- 減少した理由を考えると、今後、再度感染者数が上昇することは、容易に想像できる。今のうちに、**第8波に対する、十分な備え**を考えておかねばならない。
- 政府は、新型コロナ対策としての**マスク着用の緩和**を目標に、基準の見直しを始めている。注意すべきは、感染が現在のように減少している場合は、マスク着用の緩和は可能である。しかし、今後、増加傾向に転じたときに緩和したままでは、感染増加の勢いは止まらないことを念頭に入れておく必要がある。